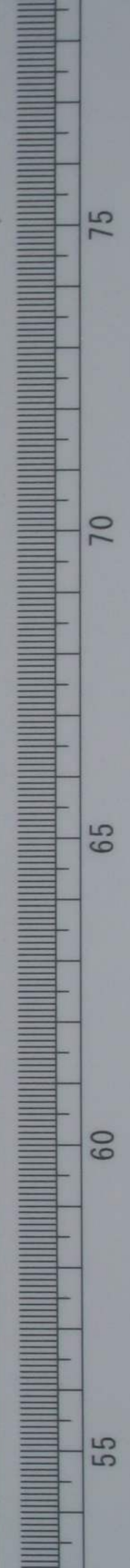
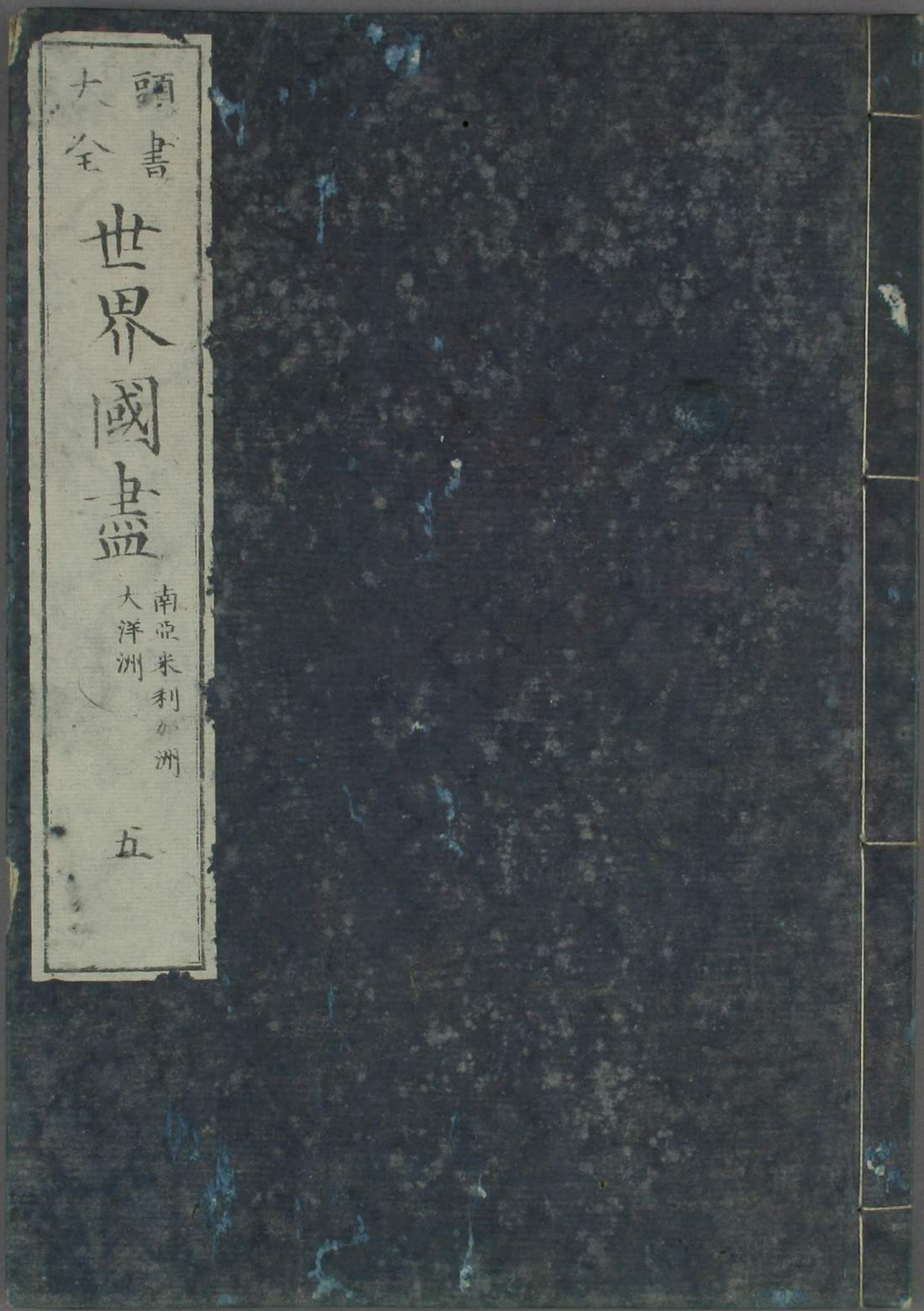


頭書
大全

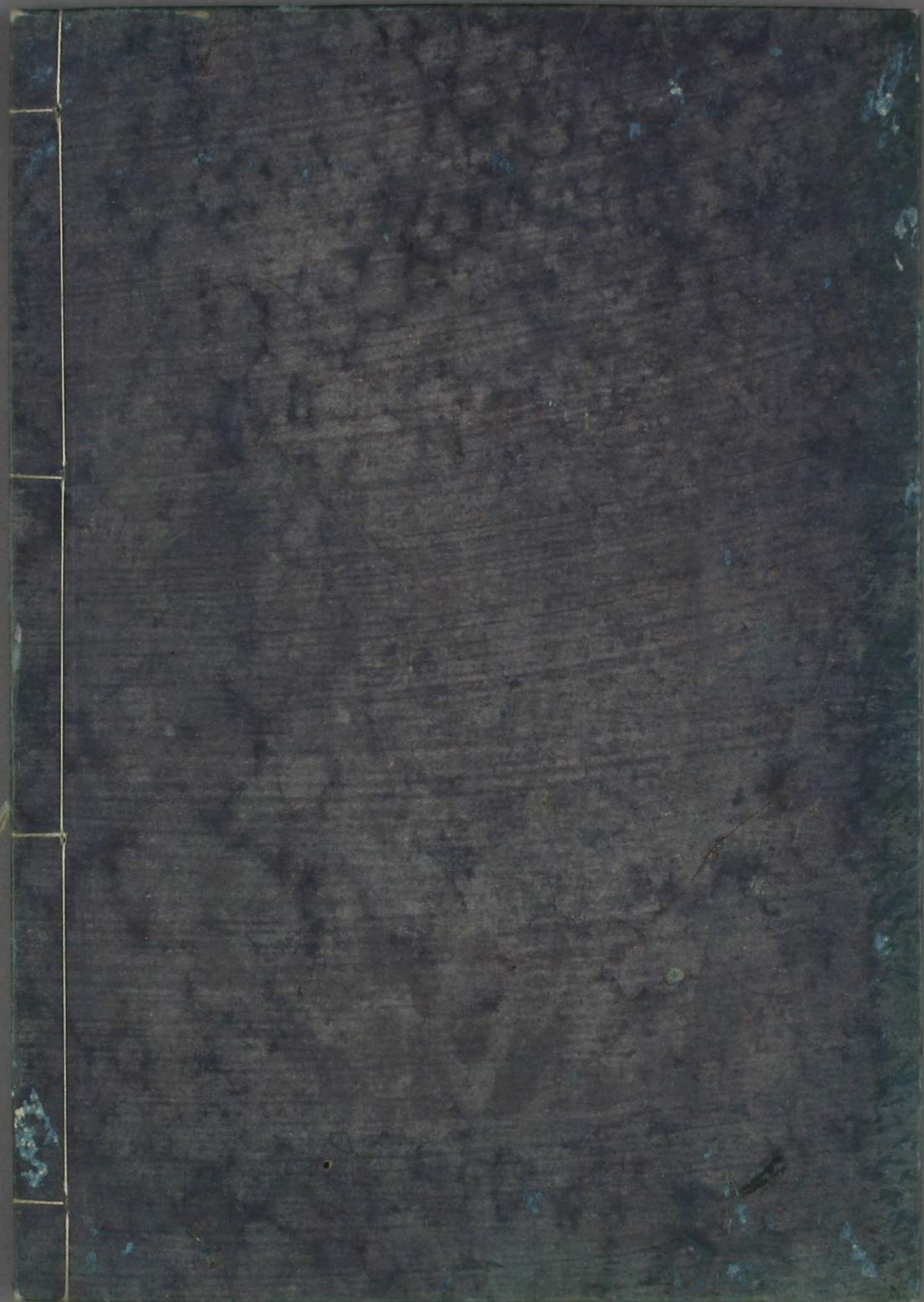
世界國畫

南亞米利加洲
大洋洲

五







南亞米利加之事
 南亞米利加州の人
 の數ハ九と一十七
 百萬土人の子孫多
 或ハ土人と歐羅
 巴人の間小生と
 する者も所を但し
 國と支配をす者
 歐羅巴人の種なり
 山林深くして草木

世界圖畫卷五

南亞米利加州
 已多馬以地狹二千
 系里太平洋海北河多
 羅海左右小分
 山の脈船の通れ便

茂 阿非利加等の
如き不毛の地なり



まぐ南のまぐ此岬を
まぐ米のふいふ九百系
里陸に不毛れ重地
まぐ米のふいふ九百系
洲とよ別なる玉の取

○古論備屋八國と
八洲おから巴奈馬
も其中の一州か
東の世界ハ末洲
西の世界ハ巴奈
馬とて地理の模様
相似さう地峽なり
但し巴奈馬の地峽
ハ僅小二十里を
まぐ米のふいふ九百系

北の方よりまぐ此
を共和政府に古論
備屋南のまぐ此
道國志を直に
山阪高

ていまいご 堀割も出
来どくく 蒸氣車の
道ゆりのと



高き山は北より理を
以て天より勝ち夏
熱くはるをみたり
四時月々如春の野
種奇く北よりん

○赤道國とハ赤道
の下小當りゆ一斯
く名つけさうかそ
部根重良も戦國小
てよく物を生む此
邊ハ地震多きが
故小家の作皆低
其都をかろく民と
いふ千八百十二年
の大地震小残らば

列島も農の時を
遅速あり東の方
部根重良國の
由は政事地理山
川の様あり鄰の

つぶま...
都て南亞米利加
地震の甚らざり
地を

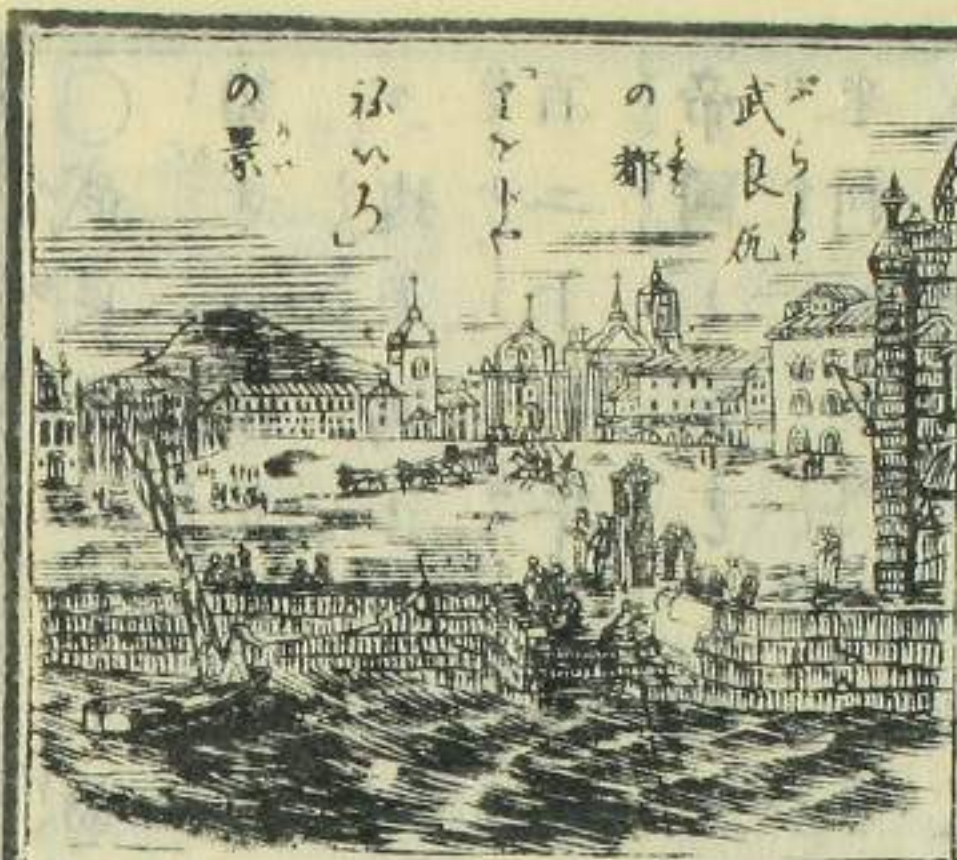


國一異ありん又
北ん七千里東西二百
六十里土地れ廣袤
分中茶葉併

○武良尻ハもく葡
萄牙の領かやう
が近來獨立し十八
百二十二年お至て
帝國とよもを南亞
米利加の内おて第
一の大國おる國政
寛くして教育の法
行届き日耳曼及び
瑞西の家と移し

英の三箇國名有つ
る一都西に世界
物産を東の富
助成被し不獨

て来たり者も既か
六萬人を都の名
とてとおや称い
といふ大都會なり



立の武良尻人口
七百七十萬亞米利
加洲の南方に比類少
き一帯に其地は比類
し較れば之は以て

武良尻の産物ハ砂
糖ハつひし村木等
の外ハ金銀も多
珠はだいやりんと
ハ此國の名産なり
領介の土地ハ廣け
きども人の數少か
く内地の方ハいま
ど開らけざりて珍
禽異獸夥しといふ

たおろしに深山の
奇木長谷王會殿
人々迫りて其地
進む世の昇化文字
の教伝りて其教



保里備屋巴羅貝等
の諸國も皆合衆政
府ふもども土地い

母一た風俗を遠く
慕ふ片を福系
人と夥し東南
は経里備屋巴羅
貝宇柳貝良富羅

ま開くも固よ
て蒸氣車の路も
く徒歩して往來
の山阪の間
難多し荷物と運
送もふハ大抵人
馬のそと用也或ハ
谷川ハ繩の橋と架
て往來する處あり
木曾の檣橋の如し

多越をそ巴多英
仁屋土地の風俗人
情ハ大略同共和
政み多るあり
麻濃蘭が濃古

風流人の悦ぶべき
ふれども日用の不
便利ハ夥シ



山林の深きハ武良

火以玉ハ亞米利加洲
の奇望峰西行廻
水、池、鯉の國安天
次山ハ林鹿も南北
ハ百二千里東西僅

尻のこからど南亞
米利加洲何をも同
様なり深山の奥ハ
玉きハ草木森々ト
して熊者の跡も見
一ハ獅子の一聲百
獸戰慄群猿月小叫
ハ旅客も心と悼
ハ開闢の始よ
ハ人ユと經

一五里天氣可厭の
が後ハハ世界ハ
以類多クハ赤道
以南の土地ハ水ハ
夏秋冬異多クハ我

ざらの地かきばせ
の景色如何おもも
のらら山静ふ
て太古の如くハ
此邊の有様と味ト
くらのやふん又
暖帯の地ハ大か
う蝮蛇ゆて折々
人を害もとハ恐
うやれらとやり

六月、彼も冬彼も
炎暑、我乃冬寒
君も煩、衣も冬
四時正しく衣も冬
百物成て豊下有る



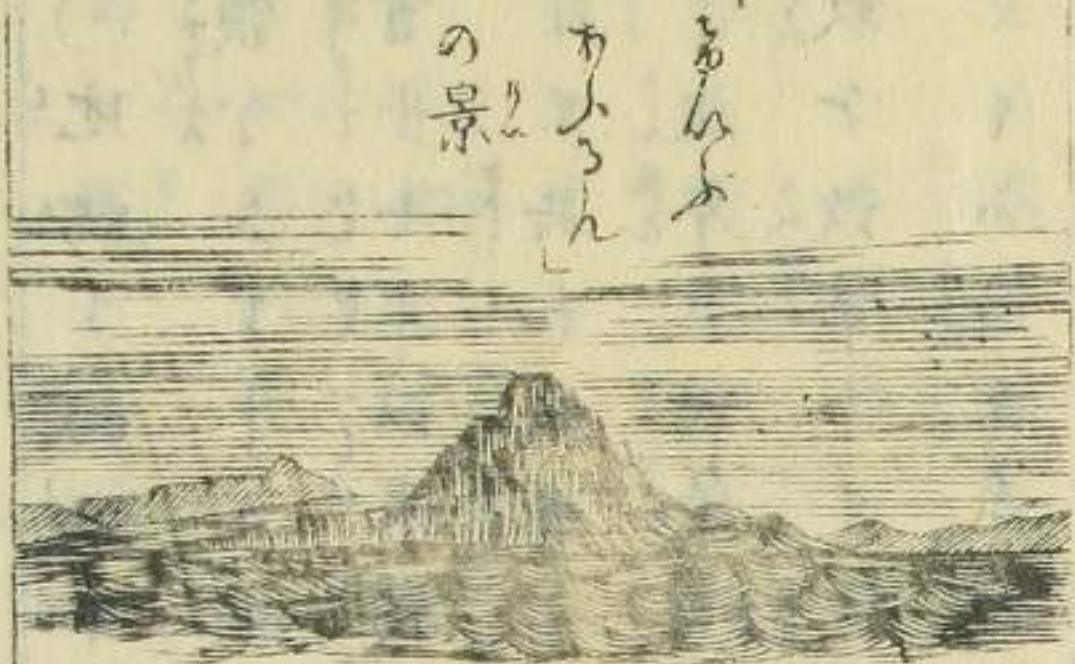
○火の國ハ南の端
小離もたつ鳴き
此嶋ハ火山多き

の人口二百萬諸海
會後共和政民此
教育於ては法方
一建了學問所楮
古以人教三業人係

の 斯く名けしと
岬の名と云ふ
ありんといふ其
地理東の世界の
望峰不似し此邊
の土人の風俗甚
陋しく人の肉を
ふきのゆを饑饉
どの時おハ犬
も捕ふても喰さ

すむ文の
富強に伴て
東の幸福は
とまらざる
安天漢山
の

ものか
老嫗の肉と賞
うそ



の景
わん
あふ

中
柳
土地
ハ
場
の

世界國語彙編

○地理も西班牙の領分が一千八百十七年以來獨立して共和政府となし近年ハ次第ニ國政を改革して文武とも小盛を四五年前西班牙より軍艦と差向けしと度々ふもとも遂

貴妃名息は平柳國の幾那如皮製を紫那塩天下無類の解其前其悩し病人を幾

小克く其都とらんらゆぶといふ海岸は四十里むの處より此間おハ蒸氣車路と作て運送の便利と達せし

那塩より以苦を忘れしは相白しん彼令病苦を忘れん乃此物に從

の手と離れ獨立の
共和政府とあるを
首府の名をてま
いふ海岸に近し東
の方を離れくくど
ふといつ都會の
此國も近來ハ次
弟小繁昌して南亞
米利加の内ふてを
上國の名を

之の事より思ふ
此の事と此の事
河に遠くわたり
と再び此の事
と世界中に國あり

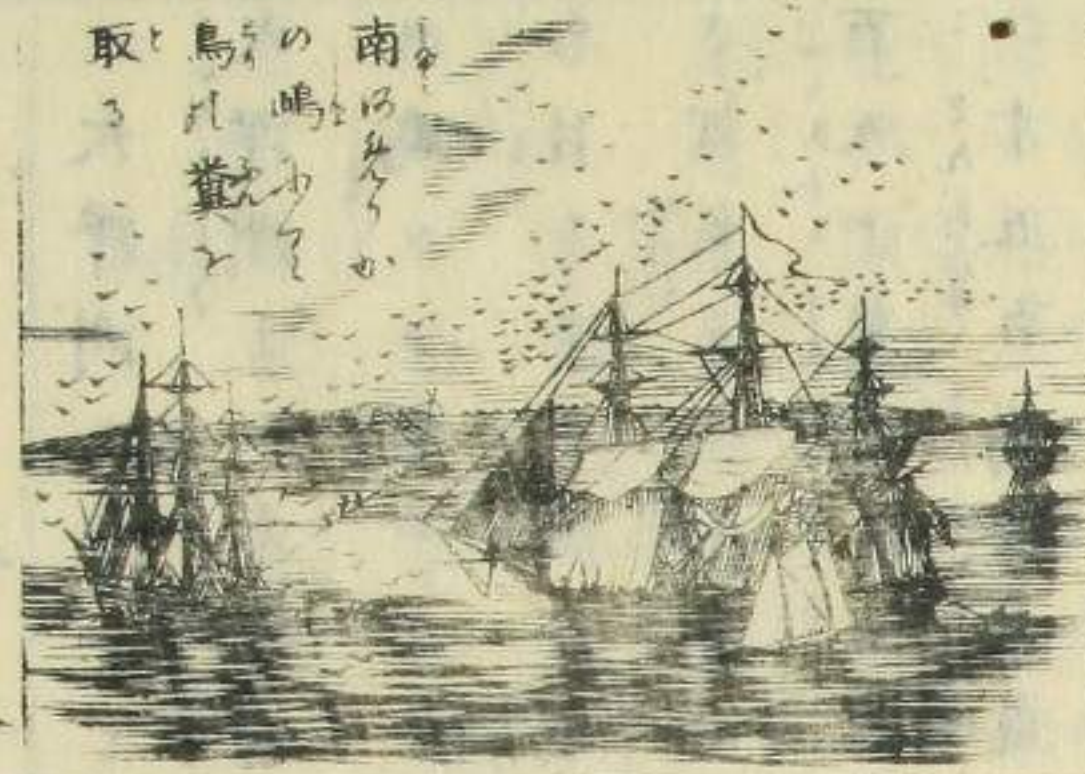


平柳の海岸にらん
ちやうがふをとい
つ小嶋の此邊
夥しく海鳥の集

亞細亞河非利加歐
羅巴亞米利加洲
北南序以道以
大略之學を可なり

つゝ 處ところ不ずて朝あさ不ず群ぐんて
飛とべバ 其その影かげ天あまと覆おほ
ひ暮く不ず嶋しま不ず歸かへとバ
其その聲こゑ數かず里り不ず聞き不ず數かず
十じゅう年ねん來き嶋しま不ず積たま
鳥とりの糞うんち堆たいくく一いつて山やま
の如ごとく三さん十じゅう年ねん以い來らい
歐おう羅ら巴ば人にんの思おも付づ不ず
く此この糞うんちと取とり煙えんの
ふヤや一いつ不ず用もちて功こう能のう

ひたふ、片かたあししに
ん世よは存ぞん在ざい所しよく日にち
臨りん波はくく一いつ世よを
得とぬ新しんしく昔むかし及および
し行ゆく島しまく秋あき葉はを



南なんの嶋しまの鳥とり糞うんちと取とり

何なにも近ちかい來き、追おひ々々世よ
不ず弘ひろまて既すでに日にち本ほん
一いつも持もち渡わたりをを一いつと

大洋洲
太平洋の嶋々幾
百千の數知れぬ亞
細亞の南東

大洋洲の事
大洋洲と太平洋の
の嶋々を集めたる
名目をして土地の廣
さを集め八九七四
百五十萬坪人口を
二十五萬余赤道
の邊傍より諸島
を天然の産物甚
多し胡椒胡椒

海岸に之を群る
須磨多羅保苗根
尾爪連漑禮部次
呂宋次擇洲新銀
石西洋次支那

樟腦象牙砂糖
以黄金銅錫石炭
も澤山あり凡味須
磨多羅保留根尾瀬
禮部須新銀名須持
洲等ハ和蘭の領か
小て本國政府の臺
所ともいふ事地
あり呂宋の邊傍
あり嶋々ハ西班牙

地赤道より多
生るる物
物其遠く
本國に衣食
富

至小島領其都
とゆふらといふ烟
草の名所あり唐人
ハ巻煙草のみと云
呂宋烟と唱るわど
のふとちを都て此
邊の嶋々に住居す
人ハ島人の種類
ふて風俗甚しく陋
しく歐羅巴人の支

利用の經濟を茶里
れ浪に於て水多き地
理の多白航海の術
以研うる文明の
勇と知後之功を



配と受てはと小徒
ハ至或ハ山の奥ハ
籠て獨立せられたるの
るゆを

南に利ありき一
世界を昔より此の地
見せし和蘭人の
不も此を新和蘭
と存しし今其

○澳大利亞の本名
ハリスと云ふ所ト
ヤトハリスと云ふ所ト
トハ南と云ふ所ト
トアテ亞細亞洲の
南ハリスと云ふ所ト
約ハリスと云ふ所ト
五年即チ我慶長十
年の頃和蘭の人始
テハリスと見出し新

石と云ふ所ト
吉利領ハ澳大利亞
東ハ西ハ里南北ハ度
ハリスと云ふ所ト
人口ハ四百萬餘

和蘭と名けしを
とども和蘭の本國
トリスと云ふ所ト
の領分と云ふ所ト
トリスと云ふ所ト
十九年即チ我慶長
六年英吉利の航海
者カビルと云ふ所ト
トリスと云ふ所ト
トリスと云ふ所ト

北由地ノミ様
トリスと云ふ所ト
トリスと云ふ所ト
トリスと云ふ所ト
トリスと云ふ所ト
トリスと云ふ所ト
トリスと云ふ所ト
トリスと云ふ所ト
トリスと云ふ所ト
トリスと云ふ所ト

世界
國
書

や其模様と詮索せ
て其後英吉利
罪人と流し次第
人の種も増て遂に
英吉利の領分とあ
も其土地の廣大
分りみと歐羅巴洲
と六分て其五分
不當も故に近來
いふと嶋と唱へ

以て厚保留の
有りて年々
以黄金、幾
限りて
港に女

どして南海の一大
洲といふも此の



澳大利亞ハ土地の
割合おして人の數

留保論志戸仁の市
れ交易も日一賑ふ
衣食住みも此海
の新世界榮る可
近しん南の市

世界
國
書

世界
地誌
卷之五

少一四百四十萬人
内土人ハ僅小五萬
人其餘ハ皆歐羅巴
人の種ナリ南東の
海岸ハ土地柄よく
繁昌セシ志戸
仁の港ハ東海岸ハ
以り南の方ハ如留
保論といふ都會ハ
第一之ん的都ホ

多事可必に東
モ多し北伊蘭全皆
英吉利に支配受
人口各十餘萬
天氣時侯ハ中和



新地伊蘭土も英

是殊又みれ進傍ハ
金山のりりハ益
繁昌

以得新地伊蘭土を
英吉利に教一當
て本國とひひ合
る是の礦畫取の時
利倒し英の夜本

世界
地誌
卷之五

世界地圖卷之五

吉利の領分を土地の模様ゆゑにたらしめや不同ト土人ハ皆体よかきもの



六の島と英吉利と

は此地の畫よりく
 りし彼地より
 け、英吉利より領
 分より没し、
 新地伊桑

昼夜の異かす所以ハ地球の圓くして廻り理合を考へて合点を考へ



此北東部の島
 以通越赤道
 越え北の方山を
 地の崎より人口僅七方
 人土地を狭く福立

世界地圖卷之五

世界地圖
國畫

○山土逸地ハ七十
百七十八年ハ
島ハ同入ハ此嶋
ノ住居モ島ノ數
ハ河モ王風嶋ノ隣
ノ大ハ島ノ
火山多ク産物ハ砂

國古平海北北
獨モ以テ北程を
占免鯨樺船以テ
交易王風嶋ノ花
嶋一ノ交易場矣



糖小麥綿烟草
澤山

此島以テ船入
之如クノ高賣
土地モ以テ
世界國畫終

世界地圖
國畫
一九終

大清



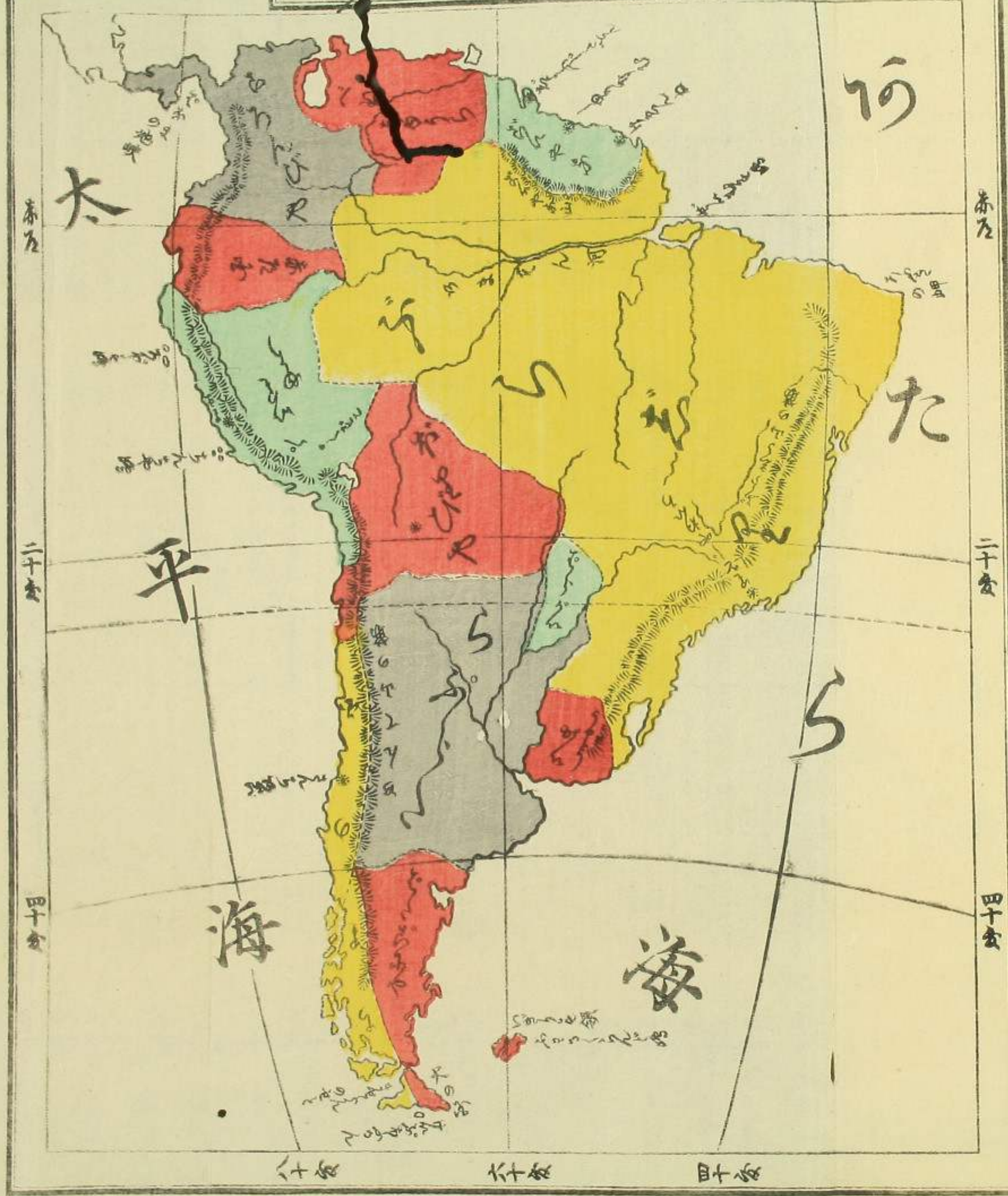
六十度 四十度 二十度 赤道 二十度 四十度

泰山
泰山
泰山

Handwritten text in vertical columns, likely bleed-through from the reverse side.

世世
世世
世世
世世
世世

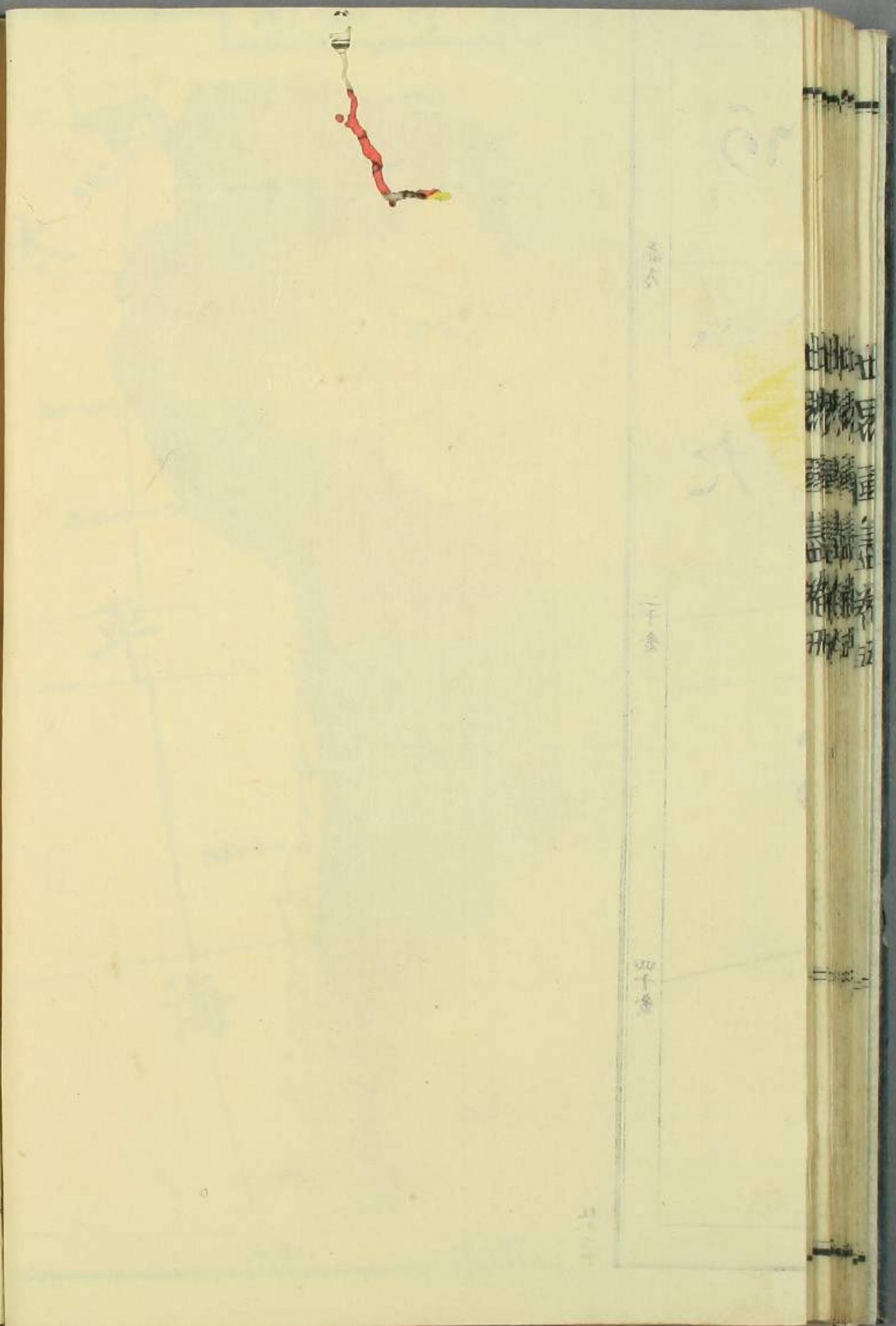
洲加利米亞附



Handwritten text in a vertical column on the right page, likely a title or a descriptive note related to the map. The text is written in a cursive style and is partially obscured by a dark border.



六十度
四十度
二十度
赤緯
二十度
四十度



北緯
六十度
四十度
二十度
赤緯
二十度
四十度

大洋洲

